

★小笠北認定こども園の教育

☆基本理念



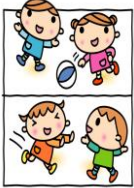
乳幼児期は人間形成の基礎を培う重要な時期である。乳幼児期にふさわしい安心・安全な環境において、就学前の子どもに共通の体験や教育を行い、一人ひとりの成長と発達を促す質の高い乳幼児教育を行う。



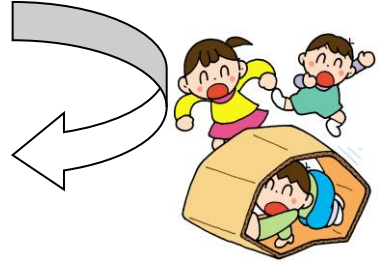
☆保育・教育内容の充実を図る

- ・遊び（環境）を通して、知的好奇心、探求心、意欲等、小学校意向の学びに繋がる素地を培う。
- ・豊かな体験を通して子ども同士のつながりを深める中で、人間形成の基礎を育てる。
- ・生活を通して基本的生活習慣の習得、規範意識のめばえを培い、社会生活を送る上で必要な態度を培う。

☆園目標



笑顔 いっぱい
やる気 いっぱい
友達 いっぱい



☆園目標実現に向けた発達のすじみち

人が好き

愛してくれる人が好き → 人への信頼感を獲得する
自分が自分でよいという安心感を持ち、何でも自分でやってみようとする。
思いが生まれる。思いを実現しようとする。

人が好き 自分が好き 友達が好き



自分が好き

自分の力でやりきった喜び、乗り越えた自信、大変でもまた新しい何かができそうな気がする、小さな困難を乗り越える喜び・・・「ぼくってなかなかいいじゃん!」と思える

友達が好き

仲間がいるととっても楽しい。(友達どうし響き合って)
自分と違う思いがぶつかって

あぁ、そうだったんだ
○ちゃんの考えもなかなかいいね
新しいやり方や思いがうみだせそう

経営方針

本園は、幼保連携型認定こども園として、同一敷地内に1号認定児・2号認定児・3号認定児が並存する。幼児の発達にふさわしい生活を営み、生涯にわたる「生きる力」の基礎づくりをする。園目標に向かって、職員が連携、協働し運営するとともに、地域に開かれた園を目指す。

(1) 園児にとって・・・そのらしさが発揮でき、楽しんで過ごせる園

保育者との信頼関係を基盤に、自己を発揮し主体的に環境に関わり、様々な体験をする中で、健やかな体と豊かな心を育み、基本的生活習慣の定着を図る。一人ひとりの興味や関心、発達の課題をおさえ、園児が生き生きと過ごせるようにする。

(2) 保護者にとって・・・安心して子どもを預けられる園

園と保護者が連携し子どもを育てる。保護者が安心して子どもを預け、就労と子育ての両立ができるように支援する。保護者が保育に参加し、互いの交流の場を通して学び合い、子育ての大切さ、楽しさを感じられるようにする。

(3) 地域にとって・・・地域の子育て支援センターとしての役割を果たす園

地域の人々が気軽に利用できる雰囲気をつくり、園庭、園舎の開放、子育て相談、子育てママのお話の場、未就園児親子登園、地域の人とのふれあい、子育ての情報や交換の場を提供し、地域や関係機関と連携しながら、地域の身近な相談場所としての役割を果たす。

(4) 職員にとって・・・子どもを育てる喜びに満ちた園

子ども理解から始め、発達や特性を考慮し、乳幼児期にふさわしい、環境整備と援助を行う。子どもの成長を自らの喜びとし、職員一人ひとりが専門職としての自覚のもと研修を深め、連携・協働しての教育保育の質の向上や、集団としての力を発揮できるようにする。